

かしぶち哲郎 in 代官山 『egocentrique』(2002.9.28 in 代官山クラシックス) ライヴ・レポート

text by 湯田 賢司

kashi no kai

かしぶち哲郎 in 代官山 『egocentrique』 .....2002年9月28日(土曜日) 19:00  
開演

渋谷駅から見当をつけた方向にあるきだし、途中で地図を何回か見て、代官山あたりに道が合流しました。雨が降り出すかなあという感じの空。

慣れない場所でも、ひょっと記憶が引っ掛かっていることがあるものです。用事の待ち時間にボンヤリしたことのある路地を1年振りにかすめて通ったり。

「ここ来たことあるじゃん」とかって思ったのは「代官山アドレス」の角にニューッと立っている電柱みたいな花の彫像。春の宵のニアミスで通過点だった像の上には、電灯も点いている。今頃あの子は世界のどこにいるんだか.....。

.....というように曇りの日は体の中に想いがこもってしまうみたいです。ペースを変えてレポートに入りましょう。

クラシックスは、アメリカの土煙る地方にでもありそうな木造白ペンキの家で、地下がライブスペース、上はレストランになっているようでした。

ドラム・クリニックは課題曲、『彼女について知っている二、三の事柄』。難曲なのではと思って「エエーッ」と私は声に出してしまいましたが、かしぶちさんは、「これはバスドラは4連で.....。」と分解して解説。こんなに惜しげもなく説明していいものなんだろう.....。観客が入っている前で、じゃ叩いてみよう、という参加者の方々はとても緊張したと思います。鬼教官は今年の課題の指示を出し、参加者によっては来年の課題まで自主設定した方もいました。

ライブは休憩をはさんで前半・後半に分かれていました。順不同で、ちょっと断片的な紹介になるところがあるかもしれません。

スタート前には『恋する女たち』のサントラが流れていました。ミキサー卓の近くには『ゴゴニ・マーティン&テイラー』セカンド・アルバムのCDを見掛けました。

かしぶちさんが高校生のときにラジオ局のスタジオで多重録音した曲が、弾き語りで紹介されました。今回の CD には入っていない曲も披露。この曲はとくに、詞のあいだあいだが、まるで意図したかのように無駄がなく、双葉より芳し、という資質を感じました。『Beep Beep Be . . . all right』(1969 年のホームレコーディングより)の「高校生バージョン」も登場。あまり私はビートルズに詳しくないんですが、ジョージ・ハリスンの『Something』みたいな情感、じわじわと迫る恋愛のうずきの表現を受け取りました。ドラムとか、何か楽器のプレイヤーになりたいというよりは楽曲を伝えたいという願いで音楽にかかわっていた、と当時の心境を MC で。

高校時代の曲から、「脂ぎった 30 代半ばの……」と始まった『S・Ex』。歌の中の空気が会場に立ち現れてきます。

間奏に『砂丘』や『冬のバラ』を織り込んだピアノの弾き語り曲もありました。もちろんライダーズ曲も。たまに、ここで博文さんのベースがゴリゴリッと入ってきて欲しいと思ったりするのは習慣のせいでしょうね。

ピアノ/アコーディオンにゲストを迎えて、前・後半とも 2 人編成だった曲もあります。ピアノ奏者の方は、歌に応じてきらびやかな感じでジャズの要素が入ってくるような演奏で、出番でないときは最前列の横でライブに聴き入っていました。

バックにテープを流して、ピアノ + ギターで歌われた新曲が数曲。『Scene#51:act 1』など、この曲で言いたいことは言い切ってしまう、みたいな気魄を感じました。制作中という MC もあり、具体的に何か私が新曲について報告できることはないんですけど、今生み出されようとしている作品を生で聴けるというのは、一番のスリルなんじゃないかと思います。

後半に入ってからとはとくに、艶やかな魅力にひたっていました。ワインが効いてきたんだか……。

アンコールが 2 曲。

サンバ調の 1 曲目は、仙台からパンデイロを持って駆け付けた方、ドラム・クリニックの参加者、ピアノ、ギターの編成で。だんだん 3 拍目(フロアタム?)担当の方が乗ってきてるのが分かりました。

今回の CD、『今日は雨の日です』(moldau-001)は会場に着く前、こんなにジャケット写真とかしっかりしたパッケージだとは思ってなかったのでびっくりしました。第2弾、3弾が楽しみです。矢野顕子さんとか、この CD を欲しがると人は多いんじゃないかと思えますけど、どうでしょうか。

この日は降りそうだった雨もパラッと来ただけで、街並みを抜けて帰途についたのです。

湯田賢司

(当日のセットリスト)

第一部

プレヴェールに捧ぐ 恋愛飼育論 リペルテ  
火曜日にはベルギーよ マドリガル 釣りバカ日誌のテーマ  
昼下がりのバラード 今日は雨の日です S.E x

第二部

昨日 今日 明日 つまり僕は 手にフラワー  
ドレス一枚と愛一つ 瞳は何も語らない 林檎の木  
ソックス Moron's Land Scene#51:act 1

アンコール

CURVE Beep Beep Be...all right

H P掲載にあたり、オリジナル原稿から改行位置を変更させて頂きました。

2002.10.20 樫の会管理人 (KRAFT.WARTZ)